

1. 件名：大間原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和4年4月8日（金）10時30分～11時25分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、中村主任安全審査官、永井主任安全審査官、大井安全審査専門職、松末技術参与

電源開発株式会社 原子力事業本部 原子力技術部 部長 他15名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について（地震・津波関係）【抜粋】
- ・第1035回審査会合でのご指摘を踏まえた地震動審議対応の改善について
- ・再提出資料＜本年4月11日受領（本面談コメントを踏まえた修正版）＞：大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について（地震・津波関係）【抜粋】修正版

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	お待たせしました。規制庁の岩田です。
0:00:10	前回の審査会合のラップアップを始めたいと思います。
0:00:14	資料については、説明はいらないので、まずコメントの中身についてこちらの方からコメントいたします。
0:00:21	はい。電源開発のタカオカでございます。よろしくお願いいたします。
0:00:31	じゃあ私の方から、S-4の14なんですけど、これももう少し正確に書いてほしいんですけど、
0:00:42	基本ケースを丸井①-1と01の-2としているか。
0:00:48	不確かさケースのベースとなっているのは、基本ケース①の-02なので、
0:00:59	最終的にどちらを基本ケースにするのか考え方を整備することっていうふうに多分、正確にやっているんです。
0:01:09	トレースできますか。
0:01:15	電源開発中村です。はい。そうしましたら、確認させていただきます。F14による地震の深部において、係数を0121と01-2にしているか。
0:01:29	不確かさケースのベースとなる基本係数、
0:01:33	これは①の議案で、
0:01:35	最終的な
0:01:37	考え方を説明すると。
0:01:39	うちが最終的にどちらを基本ケースにするのか考え方を整理すること。
0:01:45	わかりますけど、最終的にどちらを基本ケースにするのか。菅。
0:01:50	考え方を説明すること。
0:01:52	整理する。
0:01:55	はい。よろしいでしょうか。はい。では次、
0:01:58	またっていうところがあるんですけど、
0:02:01	これも正確に書いて欲しいんですけどね。
0:02:03	小俣。これ多分、
0:02:05	小笠管理官の多分コメントだと思うんですけど、
0:02:09	アスペリティ位置の設定においてってつけてもらわないと、
0:02:15	文章の主語がわからないんですよね。なんかね。
0:02:18	Asperityの設定において、基本ケースに含まれる地震動評価上の不確かさについて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:25	先行地点の審査実績を踏まえ、考え方がわかるように整理し整理、説明することって、これはスプリッティングの置き方についてね、
0:02:35	普通、レシピで言われてるような標準的な置き方と違って原子力施設のこの審査の今般の審査の場合は、上段につけてし、
0:02:45	みたいなそういう話を多分してると思うんだけど、そこの意図がわかるように書いてもらわないと。
0:02:50	資料の修正はできないですよ。だから、
0:02:55	そこをちゃんと不具合で書いて欲しい。
0:02:58	いいですか。
0:03:02	電源開発の中村ですし、拝承いたしました。呼ばさせていただきます。また、アスペリティ位置の設定において、基本ケースに含まれる。
0:03:14	1個、そのままって形でよろしいでしょうか。趣旨がわかればいいです。ついてついてって二つなるのでその修正は適当に適宜修正してください。
0:03:28	次いきます。次いきますよ。次のS-4-15ですけど、
0:03:34	これはね藤4断層入試地震の断層傾斜角の不確かさを75°としている理由について、資料へ記載することっていう、それでいいと思うんですよ。何か後のところなんかみんな削除でいいと思う。
0:03:50	かえってよくわからん。
0:03:58	電源開発の中村です。拝承いたしました。読ませていただきます。14断層による地震の、
0:04:05	断層傾斜角の不確かさ。
0:04:09	を75°にしている事業について、資料に記載することによってよろしいでしょうか。はい、結構です。
0:04:17	あとS-4-16それからS-4-17はこれでいいと思いますけども、
0:04:24	F-4-18ですね。
0:04:28	奥尻3連動の方で始まって最後の2行なんですけど、
0:04:33	地震動評価を追加し経験的グリーン関数法の長周期の妥当性を確認することって言うてるんだけど、
0:04:42	私は別に妥当性を確認してくれなんてあれではないんですよ。
0:04:48	ハイブリッド合成法による地震動評価を行うことって言うてるんですよ。
0:04:54	別に経験的な妥当性を示してもらうためにハイブリッドやってくれみたいではないんですよ。
0:05:03	ここは趣旨は取り違えてませんか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:08	いや、もしそういう意味でやるいうんだったらもう私審査会合で多分例えば1個ぐらいなんで比較してね、どっちも概ねコンパラな値なんで、統計的にしましたっていう理由にするならわかるんだけどそういうことは1個でもやっていますかって聞いたら、やってまへんって言ってたでしょ。
0:05:30	いいですか趣旨はわかっていますか。
0:05:40	電源開発の生沼です。はい。
0:05:43	ちょっと、
0:05:44	念のためなんですけど、
0:05:48	麻生。
0:05:50	この
0:05:52	今回のこのモデルでどう、
0:05:54	検討とかしてなかった方が、今していないと申し上げたんですが、
0:06:00	報告書も出る。
0:06:02	要は方向性のスケーリングやったときのモデル、谷内側、検討しておりますまして、概ね、SGFと変わらないことは確認しておったんですけど、ただ、今回のモデルでやっていなかったのもので、
0:06:14	やってないというふうに申し上げてまして、位置付けとしては、
0:06:19	なんすかね。
0:06:22	ちょ。
0:06:22	S字。
0:06:24	あくまで我々EGFを、
0:06:27	今回のその断層モデル、
0:06:30	検討では、主体として考えておるんですけども、
0:06:34	ただその、
0:06:36	何かね。ええ。
0:06:37	インフル大掃除の特殊性とかをかんがみて、SAFとの、
0:06:43	そう。
0:06:44	企画というものが資料に入れさせていただいて、その中でそのSGFだけだと。
0:06:51	ちょっと長周期側の、
0:06:53	評価が、その適切あるかどうかということがわからないんで、そのハイブリッドをやって、それ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:00	E G F との比較というご趣旨のご質問かなと思ってたんですけど、そうではない。
0:07:08	刀禰宗ではないんですね。多分、結論から見ると、そうではないです。
0:07:14	そうすると、
0:07:15	傾向で見る必要があるという指摘がある。
0:07:21	うん。両方やって欲しいっていうそういう指摘になります。
0:07:25	それは結構、結果的にはそれは当然ながら経験的と比較するための、何ていうかな、当然ながらそうなんだけど、
0:07:33	はい。
0:07:35	わかり、そういう意味で言ったら、
0:07:38	ハイブリッドで、例えば、
0:07:41	1月なり、ちょっとそこはちょっと置いといて、検討した。
0:07:46	で、傾向をまず確認するという趣旨ですかね。
0:07:51	うん。私は基本的には全部やって欲しいんですけど。
0:07:55	結果的には、
0:07:58	はあ。
0:07:59	はい。ちょっと先行きますよ。
0:08:02	コメントございました。
0:08:06	はい。
0:08:09	で、S-4-19 ですけどね。
0:08:12	いいですかサカモトです。はい。
0:08:16	私の解釈理解としてはですね、
0:08:19	まず薬3連動の検診は長大な断層を想定しておりますので、長周期がもしできないだろうというのが前提として測定器でそれに対してきちっとした、
0:08:31	示し方がまだ十分な情報が入っていない。
0:08:35	さらにその要素地震は、要するに、適切なやつをやっていますけれども、要素地震自体、近いがマグニチュードが小さな地震になっておりますので、
0:08:46	長周期が適切に反映された形になるかどうか、そういったものを含めて、見てみたいと。その比較のためにはS G F だけではなくて、長周期側を議論。
0:08:57	計算でやった結果もあわせて示していただきたいというふうに理解したんですけどもそう言って欲しい。うん。サカモトさんの言う通りです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:06	長周期側の影響を考慮したっていうふうには考慮してっていうふうにはちょっと強調して言ってるんですけども、まさまきにおっしゃる通りです。
0:09:15	わかりました。ありがとうございます。
0:09:17	補足するとサイエンティック言うと、グリーン関数を使った時点で、すべての波が新任甲冑過程が入ってしまうので、長周期の波は震源から来るとは限らない。
0:09:27	鳥羽で増幅されてきた波が入ってくる可能性もあるので、そういうものを考慮した際に、本当にどうなるのかというのは、
0:09:35	民間曾田は確認ができないので、理論的法的ちゃんと確認を取ってくださいというと、
0:09:44	電源開発サカモトです。承知しました。はい。
0:09:47	次いきます S-4-19 ですけども、
0:09:50	これ、保護者南部の地下構造に補正について、統計的グリーン画像に用いる地下構造モデルの層分割して設定していることが挙げられないためって言ってただけど、
0:10:02	別にそう分割してっていうよりもですね趣旨としては
0:10:09	これ、何ていうかな、これまでのその審査のうち、市これまでの審査では変更した事例はなく、
0:10:19	審査チームとして
0:10:22	なんていうから受けられないっていうそういうことを言ったんですけどね。
0:10:28	どうすかね。ここ。
0:10:35	いいですちょっとこれ、これこれでもいいです。趣旨が理解できてれば別にここはちょっと軸にはこだわらないんですけども、
0:10:43	電源開発サカモトです。ちょっと1点確認したいことがございます。
0:10:48	会議の中ではその先行例で、
0:10:52	受けSGFのモデルを変更した事例はありません。ですから、アクセプトはちょっとしにくいというようなご指摘だったかと思えますけども、
0:11:02	我々、ちょっと認識が浅いかもしれませんが、先行サイトでもSGFモデル、
0:11:09	データしか動いを登る或いは標準応答スペクトルようなモデルみたいなものを設定したサイトもあったかというふうに認識してございます。
0:11:18	我々はちょっと説明が下手で申しわけなかったんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:22	衛藤瀬下モデルは部門スペシャル炉外 of 了解を述べるっていうのは位置付けで考えておりましたので、そういう意味でいくと先行例ともバーツあって、形としては合っていると。
0:11:35	ということでちょっと受け入れられない、アクセプトできないとおっしゃった辺りの趣旨がもう少し、ご説明いただけると非常にありがたいんですけど。
0:11:47	いや、それならそれでね。いや
0:11:49	ちゃんとその留萌を、
0:11:51	地下構造モデルを作りましたっていう説明をちゃんとしてもらわないと駄目ですよ多分ね。
0:11:58	承知しました。まずはね、説明がある。
0:12:01	後でご説明する改善策にも繋がる話だと思っておりますけど、わかりました。
0:12:10	高井であったんですけども、もう少しわかりやすく明確にするように工夫したいと思う。
0:12:17	多分ナガイですけど、正確に言うと、FDM の評価をして、新たなモデルをさらに作ったという差異はないと思います。
0:12:26	そういうことをした事例で東海林ありますけども、今回はすべて経験的で評価していて、我々の審査庁の中でも、統計的グリーン活動の構造モデル認めていません。
0:12:37	そもそも必要ないという前提なので、
0:12:40	ただそういう事例もありますけど、評価に用いてさらに変更したという時ではないと思います。
0:12:46	電源開発サカモトです。そのうち私もありがとうございます。今回の場合には、経験的グリーン関数を使った人はそれと比較する一律的な、
0:12:57	私どもの方は、SGF で特定しての、はい。
0:13:01	腎臓評価をやってる人は、
0:13:03	それについてはモデルが変われば当然結果も変わるわけですから、
0:13:07	ということかと思ってます。
0:13:09	だからその辺のことは、道路の影響があるかないかっていうのも含めて、もう1回ちょっと、
0:13:16	シナリオと申しますか、整理してご説明できればというふうに考えてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:22	はいサトウですけどもこの場でいやいやその認められないって趣旨は何ですかって言うんじゃないくてちょっと審査会合の場で言って欲しかったなっていう気がする。
0:13:31	だよね。
0:13:33	ここはあくまで指摘したことの、なんちゅうか事実関係の確認をお互い置いとりましょうっていう場なので、
0:13:39	ここの場でそんなことを言うのはちょっと無理なんですね。
0:13:45	ちょっと思っております。うん。ちょっと次いきますよ。はい。
0:13:50	U S - 4 - 20 は、
0:13:55	何だっけな。
0:13:58	1 本、
0:13:59	はい。
0:14:00	神保、インピーダンス比による補正ね。
0:14:05	何ていうかな。
0:14:08	3 行目。
0:14:10	この手法の採用可否について、
0:14:13	再度検討することみたいなちょっと軸修正です。
0:14:20	電源開発の中村です。衛藤 3 行目、この手法の採用可否について、再度検討すること。
0:14:28	よろしいでしょうか。はい。
0:14:31	ちょっと次の S - 4 - 21 ですけども。うん。ここもなんちゅうかな先行サイトの
0:14:38	事例を踏まえてということなんですけども、領域を入れるときに、
0:14:42	何ていうかな、すでにその保守性を加味したっていう。
0:14:46	ことをちょっと書いた方の方がいいと思うんですよね。
0:14:49	横井市長南部の基盤地震動の評価において、途中段階でって書いてるけど、途中段階でってのはやめて、
0:14:58	常に保守性を加味した水平 600、
0:15:01	20 でしょ。
0:15:03	うん。
0:15:05	それを入れているんだけども、
0:15:08	先行サイトでの審査実績を踏まえて、
0:15:17	踏まえ、
0:15:19	踏まえ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:26	一番ちょっともう 1 回いきますよ。
0:15:28	難しいねここ直すね。
0:15:30	余語市長南部地震の基盤地震動の評価において、すでに保守性を加味した。
0:15:37	最大加速度水平 620 を入力しているか。
0:15:44	先行サイトでの、
0:15:47	審査実績を踏まえ、
0:15:49	その考え方については再検討を行うことみたいな、多分そんなことかなと思ってます。
0:15:59	これは要するに何言ってるかって言うと、69 っていうのは、多分工学的なね、検討から推定さ、られた値なんだけどもこれ、先行サイト 9 電の、
0:16:14	評価でそこからやって 620 に上げたわけですよ。延長部でいうと 306 から 320 に上げたわけですよそこはあまり根拠がなくて、
0:16:25	ただ単に切り抜き数値まで上げましたっていうそういう話なので、
0:16:29	工学的検討から水平 609300 億っていうのが一応、獲られているわけだから、それを入れるっちゃうのも一つの考え方ではあろう。
0:16:39	いうふうな指摘で、御社としてどう考えるんですか、どう考えたんですかっていう、多分そういう指摘なんですよ。これね、考え方についてもう少し説明をしてください。
0:16:50	趣旨はそういうことなんですけど。
0:16:57	電源開発サカモトです。承知しました。もう少し整理して、
0:17:02	確かに
0:17:04	内部でもちょっと議論して 609 を行って最後に保守性をするのが普通の考え方だよってのありましたけど、620 円。
0:17:12	さらにご指摘、あれ説明性の観点で、
0:17:15	この大庭の地盤の特性だけの違いで、先行サイトの、
0:17:19	部分の技術指導と比較できるってのがあったんで、多分やりましたけども、少しその考え方を持って整理して 620 そのままいくのか、609 にするのかっていうのは、
0:17:30	もう 1 回考えた上でまとめ直したいと思います。
0:17:34	ただここで問題点としてはもし 609 から下げてしまうと、これは、
0:17:38	V s 幾つあたりですかというところはわかるんだと思いますよね。
0:17:42	609 と 938 メーターパーセクカードってのはセットなので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:46	このセットを崩してしまうと、今度はそのあと加賀付近みというのが全くなってしまうということも、
0:17:52	効果があるで検討してください。
0:17:56	電源開発サカモトで、こちらに承知してございますやはり部門の木戸中川。
0:18:02	港町観測点のV s 938 メーター／s e cでも、はぎとりは技術構造的に考慮したときは、
0:18:09	それを、
0:18:10	古山の時代にそのまま言っても一番私はいいいとは思ってるんですが、あいにくそのS G Fのモデルでは、
0:18:18	938に近い油性の速度層がなかったということでいろいろ考えた挙げ句に、この間ご説明したような結果を出したんですけれども、その辺も含めてもう1回ちょっときちっと検討し直してご説明したいと思います。
0:18:32	ここはまだね、もう少し考える余地はありますね。ここはね。
0:18:35	やり方は幾つかあると思う。
0:18:39	すいません電源開発の中村です
0:18:44	記載の確認だけさせていただきたいと思います。
0:18:47	留萌支庁南部地震の地震、基準地震動の評価において、
0:18:53	棚田町バン地震等の評価において、すでに保守性を加味した最大加速度推計 620 と入力しているが、
0:19:04	先行サイトでの審査実績を踏まえ、その考え方については再検討を行うこと。
0:19:13	よろしいでしょうか。
0:19:16	日本語として、
0:19:18	もう少しいいいますか。
0:19:21	見るべき。
0:19:24	そうですね。
0:19:33	右、いや、こっち入れちゃってるから何かおかしいことになってるんで、本来は最後に、
0:19:40	さらにその最後にやったかっていうふうに、
0:19:42	出たかな。
0:19:46	どうします。ちょっと待ってくださいね。ちょっと1分ぐらい待ってください。
0:19:51	何か数値ちゃって、9 を入れとかないと。うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:57	はい。上積みしただけのV s が 9381 で 609 と 300 万。
0:20:07	これは意味があるんですね。
0:20:11	それが何かわかってると思うんです。
0:20:19	はい、3号ですけど最後はこれでいいんですが最後、2行目の後半ですね、説明を充実することってあるけどその充実するような、その何ていうか、まず充実は要らないと思ってるので、説明することみたい。
0:20:35	今は単にどっち使うんですかちゅう話だけ。
0:20:40	はい、営業課長中村です。最後は、説明することと終了したいと思います。
0:20:49	はい。じゃあ、確認しましたけども、大体こういう感じですけども。
0:20:54	一応趣旨はご理解いただけましたですか。
0:21:00	電源開発、サカモトです。
0:21:02	逆コメント二つを今日ご確認させていただいて、すべて理解できました。ありがとうございました。
0:21:16	ほかになれば、じゃあ次の資料説明をお願いできますか。
0:21:26	電源開発サカモトでございます。それでは資料番号を遠藤市野繁 169% って書いていて、
0:21:34	A 41 枚ですけどもこちら、こちらでご説明いたします。
0:21:39	タイトルは、第 1035 回審査会合でのご指摘を踏まえた地震動審議対応の改善について、ここで、
0:21:47	前回の会合、3月18回、18日の会合におきまして、規制庁より、
0:21:53	心臓震源審議における当社の対応について以下の指摘を受けたということで二つポチ整理してございます。
0:22:00	一つ目のポチ、
0:22:02	審査資料を社内で十分に検討、議論した上で作成し、審査会合においては社内での議論を踏まえて、事業者の考え方を明確に主張すること。
0:22:12	これあの浅田管理官の方から、ちゃんと社内で議論して持ってきてるのか、議論してるのであれば、
0:22:20	審査官の一言で、考えを覆すものではなく、
0:22:24	会合の場で議論してくれと、そういったような、
0:22:27	看護師のコメントをいただいたと思います。
0:22:30	2 ポツ目。
0:22:31	前項時点の審査実績を十分に検討し、審査資料に反映すること。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:37	こちらでも先行してもちゃんと見ているのかっていうことから、見てるんであれば、その審査の効率化の観点から、
0:22:45	このような
0:22:47	出し方をされると非常に無駄な時間になってしまって、ご指摘があったかと。
0:22:51	この2点が、前回の会合における指摘の大きなポイントだというふうに考えました。
0:22:58	以下に、1から3まで示しておりますが、まず問題点がどこにあったのか、続いてその原因はどこにあるのか、それを踏まえた上で今後改善策をどうするのかっていう形で資料を整理しました。
0:23:12	まず1ポツ目、問題点。
0:23:15	①②というふうに大きく分けてございますが、①、事業者の考え方の主張は、先ほどの指摘の1個地名で対応すると考えています
0:23:25	②選考時点の審査実績の案件は2ポチ目に対応する。
0:23:32	これは①の方ですけれども、1ポチ目。
0:23:35	審査資料において地震動評価のパラメーターの設定等に係る当社の考え方が明示されていない。
0:23:42	これは先ほどコメントの確認でもありましたけどFGを基本ケースの考え方ですとか、そういったところでのコメントがあっては問題だと思って、
0:23:51	1ポチ目、地震動評価の検討ケースの設定に関する質疑応答によって、規制庁殿からも指摘に対し、当社の考え方、方を述べることができていない。
0:24:02	これは先ほど来、ご指摘いただいている、何で会合の場でそういったことじゃなかったのかと。
0:24:08	いうあたりで、担当からの回答も前回の会合は特に、
0:24:13	審査官からのご指摘をそのまま復唱して廃止をしますっていう答え方しかしておりませんでしたので、その時点の問題であれば、
0:24:21	管理者側からもその説明をすべきだったというふうに発生してございます。
0:24:27	続いて②番、選考時点の審査実績の案。
0:24:31	選考時点審査における質疑と同様の課題の対応において検討しなり施行時点の審査実績を反映させ、
0:24:39	後発で独自の検討シナリオになっている。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:42	これは桃井を検討がまさにこれが一番当たってるんじゃないかと思えますけれども、先行審査を見てるって言うわけに、どこが先行審査と同じなのかって辺りが明確になってませんし、
0:24:53	大場がどこが違うんだっていうのも明確になっていない。
0:24:57	そういう意味でいくか。
0:24:58	審査のその効率的な審議ができないというのがまさに繋がっていたのかというふうに反省してございます。
0:25:05	続きましてこの問題点を踏まえて、どこに原因があったかってのが一つの原因になります。
0:25:11	これも①と②の同じ時期で整理しました。
0:25:14	①の1ポチ目。
0:25:16	審査資料においては検討結果の保守性を優先したため、科学的論拠の整備が十分取りず構成の考え方が明確になっていなかった。
0:25:26	この間のF10の基本ケースの考え方もそうですけれども、
0:25:29	ロゴにしてもそうだと。
0:25:32	そして、結果が保守的ながら採用したみたいなのがちょっと多かったんで、そこに至る経緯、なぜそう、そういう評価になったのかという辺りの、まず科学的な積み上げの部分は少し、
0:25:44	少しでも十分とは言えなかった。
0:25:47	我々は一応検討はしておったんですけれども、そこをきちんと審査するように書いてなかった、或いは質疑応答で説明しなかったっていうのが原因というふうに、
0:25:57	2ポチ目。
0:25:58	検討方針策定及び結果の評価、分析並びに説明性向上。
0:26:03	このために、
0:26:04	必要な情報の検討整理が十分あり得るようなところが福土他、
0:26:09	こちらについては桃井なんかもそうなんです、
0:26:12	先行サイトで、まだ数年前に議論されたようなことについては、場所審査資料を見ておりましたけれども、賃金の経緯の中で、議事録或いはYouTubeの確認、
0:26:22	そういったものが多少、
0:26:25	されてされてなかったというか、黒坂になってたんですね。
0:26:29	確かにすべて市長なり、いろいろ見ておりますけれども、記憶に頼ってしまった部分があったっていうのが、具体的な考え

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:39	②番目。
0:26:41	先行しての審査実績の羽田打越ですけども、
0:26:44	先行しての審議結果の審査資料への反映については、先行審査での検討内容を確認していたものの、
0:26:52	その審査結果に至るΣ審査書や関連付けることが不十分であった。
0:26:57	これを今ほど申し上げた。
0:26:59	審査書をパワーポイント資料見ていたけれどもそこに至る経緯をきちんと把握していなかったので、そこも含めて、資料に反映できていなかったということだと思う。
0:27:09	裏に行きまして、
0:27:11	スタッフ改善策になります。
0:27:13	改善策については一行書いてございますけれども、改正、
0:27:18	審査資料の作成方法、それと意識、この三つの視点から、解決策を考えました。
0:27:26	まず片括弧1の体制の改善です。
0:27:29	振動評価及び審査資料作成に係る技術的議論につきまして、
0:27:34	適合性審査に係る社内会議の枠組みいく枠組みを有効に活用しまして、
0:27:40	関係者が検討方針策定の早期の段階から、分析の深掘りに必要な情報の検討を整理して、
0:27:48	全国原因で記載しました事項を適切に是正しているかできているかということを確認しながら議論を進めていくことにしたいと思っております。
0:27:58	さらに、適合性審査に関わる業務の経験の方の地震の評価の専門家を当社に駐在させて、多面的な議論、
0:28:08	ちょっと事業者目線での議論しかなくてなかったんで、もっと技術面を重視した議論とか、成功時点を見ますと見て、
0:28:15	踏まえて議論するとかそういった多面的な議論の深掘りを促進して、
0:28:20	ガステーブル特性を適切に反映した評価方針を策定していくようにしていきたいと思っております。
0:28:27	こうすることで先ほどご説明した問題点の①及び②の改善になるんじゃないかというふうに考えました。
0:28:36	片括弧、
0:28:37	審査資料作成方法の改善。
0:28:40	これは散歩Gで書きましたけれども1ポチ目。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:43	科学的論拠を丁寧に記載した上でどのように保守性を加味しているかが明確化された資料を作成する。
0:28:50	これは当たり前前でそれができていなかったということは非常に反省すべき点だと思って再認識、改めていたします。
0:28:56	旅行することで、議論
0:28:59	長をきちんとして議論ができるという意味で、
0:29:01	問題点①の改善だというふうに思って、
0:29:05	1 ポツ目。
0:29:06	全部の時点での審議事項と共通する部分と、大町県固有の審議事項を峻別した上で、
0:29:13	当社の考え方及び論点が明確化された審査資料を作成する。
0:29:18	これは審査の効率化というようなコメントございましたけども、これに資する改善策というふうに考えてございます。
0:29:25	当然議論をしなきゃ、審査資料の明確化できませんので、問題点①と②の改善に繋がる。
0:29:31	いうふうに考えました。
0:29:33	(1) 目。
0:29:34	調査資料作成にあたっては町での検討課題に対して成功審査の審査資料等にならず、過去の会合の議事録もしくは会合増加についても、
0:29:45	繰り返し確認して関係者間で6件かかる上、
0:29:49	これは先行審査の情報をきちっと資料に反映するための改善策として、
0:29:55	ということ。
0:29:58	最後に、また学校さん意識の改善になります。
0:30:02	打越。
0:30:03	関係者全員が審査会合における事業者のあるべき姿、これはこれからご説明するということですが、
0:30:10	審査会合は、規制庁と事業者が議論する場であること。
0:30:16	規制庁の目的を十分理解、咀嚼の上、科学的論拠がシナリオを整理して、事業者として明確に主張すると、こういう意識を、
0:30:26	管理者以下、関係者全員が持つてるようにしたいと思います。これは意識の改善で、主張に繋がると思いますので、
0:30:34	①の改善というふうに考えて、
0:30:36	2 ポチ目。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:38	これ作業だけではなくて、行動を起こしましたということですけども、
0:30:42	関係者を招集して、これまで適合性審査対応に係る問題点、
0:30:47	ゲームという最善策を、
0:30:49	共有する教育指導打ち合わせ会議を設けて、意識の改善を徹底いたしました。
0:30:56	こういった教育指導っていうのは、今後も継続的に実施して、風化しないようにしていきたいというふうに思って
0:31:03	これを問題点の①の改善すると。
0:31:06	以上、ご説明にあります。
0:31:10	はい、ありがとうございました。何かありますか。
0:31:14	ちょっと私の方から口火を切らせていただくとですね、まず一つ目なんですけれども、
0:31:20	これ本当に私、素朴な疑問なんですけどね、このF14、
0:31:24	今回は議論しましたけれども、基本ケース決めるときにですね、社内で議論した時に、①までに二つあってですね、何が基本ケースかっていう
0:31:33	ことについて疑問を持たれる方は1人もいらっしゃらなかった。
0:31:45	電源開発のサカモトです。
0:31:48	本ケースが二つあること自体については意見は両論ございました。
0:31:53	で、もともと我々が考えていた、基本ケースがやる重要なスペックについては水平方向の位置は、センターは整理する。
0:32:02	いう考えがございましたので、それに変わるのかどうかっていうのもあって、丸一日みたいな形で残した。
0:32:09	で、
0:32:11	会合の方 Mitsui さんから、
0:32:13	具体的に指摘をいただきまして、その際に、偶然的な不確かさとして、アスペリティは西側をそろえて、分析の西側にそろえておいてはどうかっていうようなご指摘がございましたので、
0:32:26	偶然的な不確かさと考えれば基本ケース、当然考慮する必要がある。
0:32:31	ただ、我々としてはやっぱり基本はセンターなのかなっていう思いがあって、
0:32:36	どっちにするかっていう議論をしましたが結局最終的には結果になってしまったということで、そのまま、
0:32:42	今回のご指摘踏まえてですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:45	ちょっとわかりやすい形で整理したいと思ってます。
0:32:49	あのイワタです。
0:32:50	なんかね、私の印象はですね、議論は両方あったとおっしゃるんです結局アウトプットが中途半端なんですよね。
0:32:59	普通基本といたら一つじゃないですか。
0:33:01	それが二つあるんですでそのまま審査会合で議論しましょうっていうのはですね、私はむしろ、社内の議論もまだ、
0:33:08	途中段階であって、きちんと方向性を決めていなかったんじゃないかという気がしてしょうがないんですよ。
0:33:15	これ少なくとも我々審査官、
0:33:18	てか、規制庁のは、みんながね、何で二つあるんですか。基本はどっちなんですか、まず思うわけですよ。
0:33:24	それ思わないと多分ないんだと思うんですよ。これ一般的な何ていうか、感覚的に、基本なんだけど二つあるって言ったら、やっぱり違和感を持ちませんか。
0:33:35	そこのね、やっぱり社としての方針の決定のプロセスがないんだと思うんですよ。
0:33:41	で、
0:33:42	ある意味ですよ、生煮えで持ってくるから、F14みたいなですね、ある程度、基本ケースにおいて不確かさケースを整理してくださいと。
0:33:50	いう割とわかりやすい、前々回の審査会合でのコメントが、もう1回やることになったじゃないですか。
0:33:56	これはね。
0:33:58	正直申し上げて、
0:34:00	1回審査会も損してるわけですよ。
0:34:04	そこをきっちりやってくださいということを申し上げたんですよ。
0:34:07	それができないと、これからも同じことがまた起こりまして、これ、震度だけじゃなくてですね。
0:34:13	改善策いろいろと
0:34:16	書いていただきましたけれども、単にその専門家を入れれば良いということとかですね、そういうことではないんだと思うんですよ。
0:34:21	これは、これまでの審査どうやってたんですかっていうことにも関係するんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:27	非常にね、説明性というのはある程度我々ロジックを求めているわけですよ。
0:34:32	なので、
0:34:34	それを意識して作っていかないと、
0:34:37	いや二つの意見が分かれたんで結局、ちょっとあやふやなままで出しましたみたいなことがあっては、これは困るわけですよ。
0:34:46	ノンリコースしっかり作っていただいて、これは普通の人が見たらですね、日本に思わない形のものを出してきて欲しいと思う。
0:34:54	なので、単に専門家入れれば良いということではなくて、もうちょっとね、違う視点からちゃんと見る人ってのは、必要だと思うんですよ。むしろそれはマネージャーの方々の方々のですね、役目だと思うんですよ。
0:35:05	同じやっぱり土俵に乗って同じような議論をしていたんではですね、それって改善できないんだと思うんですよ。
0:35:12	技術的な議論をする人は技術的な議論をしてもらって、その上でどのように整理をするかというのは、管理者の仕事ですよ。
0:35:18	そこの役割分担をしっかりかけるということが必要なんじゃないでしょうか。
0:35:24	電源開発タカオカでございます。岩田さん、まさしく言われる通りでございます。基本ケースが二つあるのはおかしいというのは、私どもの方からも、
0:35:35	指摘はしたんですけども、ちょっと最後は言ってしまったところがあるので、
0:35:40	地震、
0:35:42	だけでなく、地質や津波で審議これまでやってるんだからそういった、
0:35:47	ロジックとかですね、事務局の視点をもっと反映しようということ言われてる。
0:35:52	かと思えますので、もう少し社内できちんと議論を深めて対応するようにいたしたいと切に感じております。申し訳ございません。
0:36:02	はい。ぜひよろしく願いいたします。
0:36:04	あとは先行審査の話も審査会の方が出ましたけれども、
0:36:09	これもね、過去からずっと言っている話で、今改めてね、我々から申し上げたことでは多分ないんだと思うんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:17	平成 25 年にスタートしたところからですね、こちらから論点提示をするにあたって同じようなことを申し上げてきたつもりでいますし、これ電力代で、
0:36:28	多分共通認識になってることっていっぱいあると思うんですね。特にこの留萌なんかはですね、各社集まっていたいて共通のやり方を決めていただいたという経緯もありますし、
0:36:38	先行する九州電力のあり方を後続の審査のグループの方々ですね、それを則ったやり方っていうのを多分踏襲してきて新規制の審査でどんどん進んできてるはずなんですよ。
0:36:50	で、もう一つさっきも少し議論がありましたけれども、統計的手法についてもですね、これは論点提示の中で、経験的とかでやってる場合についてもですね、きちんとその妥当性を示すためにやってくださいという位置付けというのはですね、
0:37:03	これも多分、平成 25 年の頃から位置付けは変わってないので、なので、審査上の扱ってというのは、先ほど長井からもコメントありましたけれども、ああいったものになっていると。
0:37:13	その上で、皆さんどうするんですかということを、説明していただかなければいけなかったんだと思うんですね。
0:37:19	それはサトウ持ってましたけれども、今説明するんじゃなくて、それはもう当然ね、我々も認識としてあるので、その上でああいうものが出てきたので、皆さんなぜこんなの出してきたんですか。それを、一番、多分関連することだと思うんですけども、
0:37:33	そこをやっぱりしっかり見ていただきたいんですね。
0:37:37	でないと、必ずしもその真似をしろと言ってるわけじゃないんですけども、主張するんだったら主張してもいいかもしれませんし、全く違うものなのか、これは新しいものなのか。
0:37:48	どうなのか、少なくともそのぐらいはね、説明できたんじゃないんでしょうか。
0:37:54	電源開発サカモトでございます。ご指摘ご最もだと思って、今回強く再認識いたしました。
0:38:00	地震津波関係でいくと、齋藤地区の部分が結構ありますので、先行されたって本当にそのままやっていいのかとかっていうようなこともあるかと思えます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:12	そういったことを踏まえて、また考え方をどうするか、その中で、先行サイトと同じ程度あるのか、大間独特の部分がどのぐらいあるのかってのをきちっと峻別して先ほどご説明しましたけど、
0:38:24	それがわかりやすくなるように、
0:38:27	記載のプランを読まなくて済むような形で資料化して、次回以降きちっとご説明したいと思いますので、よろしくお願いします。
0:38:35	はい、ぜひよろしくお願いします。ちなみに先ほど私申し上げた他電力とのコミュニケーションってのは十分とられてると思っていいですか。
0:38:44	電源開発サカモトですかってございます。わかりました。今後ね、似たような話出てくるかもしれませんし、松波の方でもですね、やっぱり先行審査で見ていたようなやり方というのが今回、
0:38:56	反映されなかったので追加してくださいってことを申し上げているので、その辺りはですね、しっかり、先行審査は何を見るかというか、
0:39:04	どんなところが論点になっていて、論点だといったところは当然ね、議論してるわけなので、そこでも何か
0:39:13	わかりやすいんだと思うんですね。
0:39:16	話題になってる話なので、だからそういうところに、まさにその抜けがないようにですね、フォローしていただければと思います。そこはぜひよろしくお願いします。
0:39:24	あと大浅田の方からですね審査会に議論する場なんだからどんどん議論してくれという、少しリップサービスの部分があったんですけども、我々ね、その下地を作るために、ヒアリングやってるわけですよ。なので事実関係なんかもさせていただいて、ある程度皆さんの主張というのを理解した上で、
0:39:41	審査会合に臨んでいるつもりなので、そこはヒアリングの場で、丁寧な説明をしていただく上で、審査会合では、どうフェーズの議論をするかということもですね、
0:39:52	もうちょっと整理をしていただく必要があるんだと思うんですね。何でもかんでも審査会合でバチバチに議論すると言ったら、ものすごい時間かかりますよね。なのでファクトは、
0:40:01	ヒアリングで整理をした上で審査会合ではいわゆる、
0:40:06	主張については、ちゃんとしていただきたいと、そういうのは使い分けをね、しっかりしていただきたいと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:14	承知いたしました。資料作成と御説明にあたって何段階が明確されているかってそこが重要だと思っておりますので、今後あそこ強く意識して、
0:40:24	整理していきたいと思ってます。
0:40:27	はい。よろしくお願いいたします。
0:40:29	これはねちょっとこの紙には書いてないんですけども、先般からですね、ヒアリング資料で少し間違いが多発してますということがあって、
0:40:38	ここはちょっと我々も非常に問題視はしているんですよ。今申し上げたように、ヒアリングをやはり、審査会の準備ができたので、その資料をベースに事実確認をした上で、本番に臨みましょうと、そういう位置付けですよ。
0:40:52	その事実確認をする資料が間違っていたとなると、仮にその審査会合に進んでしまった場合再度やり直しになるわけですよ。
0:41:01	これはね、両者にとって結局、いいことではないわけで、
0:41:05	なので、
0:41:08	これはねよく委員会の場でも何か議論になってますけれども、ヒアリングの日は確かにその十分なね、品証プロセス、いわゆる審査書ごめんなさいが申請書と同じような、
0:41:21	何ていうかね、品証プロセスを経てないのかもしれないみたいな話もあるんですが、我々としてはですねやはり同じようなレベルで見ていただいた上で、審査会合に臨んできたいただきたいんだと思うんですよ。
0:41:32	で、ここ、何点か、
0:41:36	発生してるんですけども、それについて何かお話がありますか。
0:41:43	はい。深瀬タカオカでございます。資料の動きについては、誠に申し訳ございません。
0:41:49	今、岩田調査官さん言われた通り、ヒアリング資料だからといって、停止しているわけではなくて、
0:41:58	品証チェックとかそういうプロセス値、所定のヒンショウ手続きを経て、提出しているものではございますにもかかわらず、
0:42:07	特に、
0:42:09	一番最近起こったボリューム高1鉛っていうのは非常に初歩的な、
0:42:13	部分のチェックができなかったということですね、現在要因分析と再発防止策、本集中取りまとめるスケジュールで、
0:42:23	取り組んでおりまして、私も、本日午後、話を、予定なんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:28	ヒューマンエラー的な場所が多分にありますので説明して、その通り、等チェックして、どのようにして、規制庁さんに審議していただくふうに対応資料お出しするかというところ。
0:42:40	整理いたします。それで審査会合では当然、規制庁さんからそのあたり、問題視、壊れるとっておりますので、きちんと回答できるようにですね、
0:42:52	準備していきたいと思います。
0:42:55	それで、当然のことながら、今後ですねそんなことないように、耳が抜けてチェック体制とってですね、対応して参りたいと考えております。
0:43:06	はい。大体状況はわかりました。
0:43:10	今おっしゃっていただいた通りだと思うんですが、西谷こういうことが起こるとですね。いやダブルチェックをします、トリプルチェックをします、チェックシートを作りますということになりがちなんですけれども、これは私あまりそれで、
0:43:22	同じことが繰り返されるだけですね、ミスは必ず起こる可能性ってのはあるし、なくならないんだと思うんですよ。その時に、これはもしかしたら、チェックシートをつくれれば直るということだけではなくて、
0:43:35	やっぱり意識の部分でも、ちゃんとなんですかね、持っていただきたいと思うわけですね。任せきりにならないとかね、やっぱり、各自、自分のその役割と分担ちゅうの、しっかり認識した上でやっていただくというようなですね、サイドの
0:43:51	教育なんかも重要だと思います。なので
0:43:55	申し上げたいのはね、
0:43:56	いや結局、
0:43:58	チェックシートを作りました、ダブルチェックをトリプルチェックにしましたみたいな方策にならないね、中身というのは考えていただきたいと思います。いずれにせよね先ほど高岡さんからもありましたけれども、我々としてもね、
0:44:11	これは重要な問題だと思ってるので、次回の審査会にちょっといつ何時かというのはまだちょっとスケジュール立ってませんけれども、その場では、一応、最近こういうことが起こってるのできちんと、
0:44:21	ほう素の方策についてはですね、改善の方策については、ちゃんと対応してくださいということは言わざるをえないと思ってますので、それはぜひ対応をお願いしたいと。
0:44:30	で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:31	少なくともね今オウンゴーイングで進んでいるヒアリングの資料についても同じプロセスを経てくださいが必要があるかと思うんですよ。なので今日聞かれて今週という話ありましたけれども、少なくともね、
0:44:44	きちんとチェック体制なりですね、確認体制もしくはその教育訓練なりができるまでは、
0:44:50	我々としては、
0:44:54	あまりヒアリングをやっても、
0:44:55	仕方がないので、その結果を待ちたいと思います。以上です。
0:45:02	タカオカでございます。岩田さん、課長坂井岩田通りだと思います
0:45:08	工事の労働安全でも、同様にですね、
0:45:12	事故を起こした場合には、きちんとサービスボイスをとらないとまた繰り返すということがございますので、我々もこの審査資料、
0:45:21	ヒアリング資料、
0:45:22	についても同様に考えておりますので、スケジュール的に先ほど申しましたように、今週中に再発防止策まで策定してて、
0:45:33	きちんと整理してですね、その場で審査資料整えてってということで、対応して参りますので、そのヒアリング、申し込むところには広範囲できるように、
0:45:45	保全を行っていきますそれから審査会後においても、そんな苦言と呈されるのは当然、規制庁さんとして当然のことだと思いますので、
0:45:54	きちんと回答できるように準備いたしたいと思います。はい、拝承いたします。
0:46:00	はい、わかりましたじゃそういう方向でよろしく願いいたします。
0:46:03	安保。私からすいません最後になりますけれども、今改善策とかですね、幾つかお示しいただいた部分についてというのはですね、今日のその前半のね、中身、
0:46:15	についても同じことがいえると思うんですよ。つまり審査会合で、どういうことを言われたんですか。これは当然、皆さんも録音とってますでしょうしユーチューブでは、本籍とかもできるので、
0:46:27	事実関係というのはまずはしっかり把握できるんだと思うんですね。その上で、皆さんの思いを、これはね、
0:46:36	コメント内容に追加するのではなくて、やはり、まずはダイレクトに書いていただいて、ラップアップ何のためにやっているかというやはり、その趣旨が本当にそう発言はしたんだけれども、こういうことです

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	よということがあればね、そこはこちらからも不足をしたいと思いますので、
0:46:49	まずはその皆さんが思っている内容を書くのではなくて、まずは事実関係として何言われたんですかというのを、素直に、まずは書くべきなんじゃないかなと思うんですよね。
0:46:58	でないと、このラップ自体もあんまり意味がなくなってしまうし、審査会合やってからですね、しばらく時間が経たないと、コメントがフィックスできないってのはちょっと変な気がするんですよね。
0:47:09	なので、先ほど審査会合の場で議論というのがあったのは、趣旨が不明確であればそれは審査会合で聞いてください。
0:47:17	その上で、ラップアップで、をやってしっかりと、どういう方向性で何をしていたらいいのかということを決めていくということに、が必要なんじゃないかと思っています。
0:47:29	その辺についてはよろしいですか。
0:47:35	はい県民からサポートでございます。その趣旨についても拝承いたしました。審査会合では、議論というのは
0:47:45	審査課の方からコメントを受けた部分についてが論点なので、趣旨がわからない。わからなかったら、そこで確認するし、事業者の考えをきちんと述べる。
0:47:55	それで本日のやっぱ本番コメントリストについては、ファクトとして審査会合でご指摘いただいて何をコメント内容と記載をして、
0:48:05	そこで、今後のコメントの趣旨や方向性について確認する事項があったら確認するということだと思いますので、そのあたりで、地震もですね、
0:48:16	抽出津波はこれまで行っておりますけれども、各分野全部が共通して対応できるようにして参りたいと思います。
0:48:23	はい。よろしく願いいたします。私からは以上ですが、他の方から何かあれば、
0:48:30	すいません佐藤ですけども。
0:48:32	私からちょっと1点だけお願いはあるんですけども、今後の資料にね、少し質問意識をして
0:48:39	作って欲しいんですけども、やっぱり以前も言いましたけど、
0:48:42	この審査ってやっぱり何て言いますかね、自然ハザード系の地質でも地震でもお母さんでもそうなんだけど、津波でもそうなんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:53	その考え方って非常に重視される審査だと思ってるんですよ。
0:48:58	その技術的なテクニカルなところはそれは最後の結果で大小があるんですけども、
0:49:04	考え方はかなりあって、6割のやっぱり考え方の
0:49:08	何て言いますかね審査だと思う。私は思っているんですよ。
0:49:12	そこのところをね、ちゃんとやっぱり皆さんの、
0:49:15	フィロソフィーをちょ、わかるように書いて欲しいんですよね。
0:49:19	自身もやっぱりねちょっと一番最初に持ってきたヒアリング資料はね、もうその部分がちょっと乏しかったので、非常に我々としてはちょっと不満を持っていたんですよ。
0:49:31	だんだん少し変えてくれるようにはなったんですけど、
0:49:35	やっぱりその辺がやっぱりその一番そのちょっと御社の資料で欠けてるところかなと思ってるんですよ。
0:49:41	なので、その技術的にはねそれなりに詳しい人いっぱいいるんだろうけども、その考え方ですよ。
0:49:48	そこをやっぱりもう少し重視して資料にちゃんと思想は入れ込んで欲しい。
0:49:53	そこがわかんないとね技術的なところに踏み込んでいけないのでね。
0:49:58	というちょっとお願いをしておきます。すみません。以上です。
0:50:03	はい。加瀬タカオカでございます。今、審査部のご指摘の点、これまでもどういう話何回かさせていただいたかと思っております、私も認識してございます。
0:50:17	ちょっと弊社の資料ですね、全般に共通するところが、結果ありきで、結果だけが載ってるって考え方が不足している。
0:50:27	それから結論として、だから何なのかが抜けるとかですね。
0:50:31	だから方針をきちんと最初に示してないよ更新統評価が、してないとかそういうところが良くない点があると思うんで、
0:50:41	これまでも随分改善してきた。
0:50:44	つまり、社内の会議体ですね、私、ヒアリングにお出しする前に、
0:50:49	プレヒアプレヒアという検証のシステムのポスター会議体へ、チェックしてきてるんですけども、今その審査バンの起こして結構、もう1度手間に銘じてですね、より一層、
0:51:01	そういった逆転の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:05	改善に努めて参りたいと思いますので、引き続きどうぞよろしく願いいたします。
0:51:15	引き続きナガイですけどサトウと同じような視点に一部なところもあるんですけども、
0:51:20	やはり御社の考え方ってしっかり、各分野をですね示していただきたいと思いますんで、
0:51:27	その考え方を示すところで、文章が意味がある、一番とか不適の評価ですね、品格評価は日本語とかそういう表現が大事なところもありますし、
0:51:38	凶面が大丈夫なところもある。その結果に対する解釈が大事なところもあり、それぞれにおいてですねそういう場面場面は違うと思うんですけども、そういうところの御社の考え方、解釈、
0:51:50	評価の許可手続き方、
0:51:53	そういうところ、基本のあるところはしっかりと説明をしてください。今日の説明もありましたけども、日本原電東海第2のやり方を参考にしたと言ってもその中でですね、我々審議している中で、何をもって、
0:52:08	これを了としたのかっていうところのポイントをちゃんと把握できなければ同じやり方と全く意味がないので、そういうその裏で何を、
0:52:18	考え方を聞いて、布田というのはその背景ですね背景として、何、何を、
0:52:24	適切だと思った上で我々がこのやり方を、を認めたというところで、御社の考え方をしっかりですね、過去の審議ポイント、何を見ていたかということを確認の上で、
0:52:36	しっかりと例示した上で説明をしてください。
0:52:39	私からは以上です。
0:52:42	はい。電話した方法でございます。佐藤さんと角田と同じ時点のことを言われたと受け取りました。
0:52:52	そうですね。
0:52:54	場面が違うステージがいろいろ違う。解析の結果とか、方針とか、もっとシンプルに言えば、審査官の皆さんが見て、なぜ、
0:53:04	なぜこの結論になるんだという、なぜ、常に問いかけがですね、資料のあらゆる局面に必要なということだと思いますので、
0:53:13	そういった考え方ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:16	なぜこういったことを言ってるかな部分、その辺りを重点的にする、さらには、審査会合で大坂管理官からも言われたんだけど、
0:53:25	行間を読んでわかるようなものじゃないんで、きちんとロジカルにこう繋がるような文章ですね、日本語としてきちんと繋がる、そういったところも評価しなきゃいけないっていうのは、
0:53:35	きちんとした資料にしなきゃいけないというそんな問題意識は築いておりますので、
0:53:40	全部トータルで含めてですね、今後、
0:53:44	資料に反映できるようにして参りたいと思います。
0:53:50	はい。矢田さん、多分大体あのいいたいことは同じで、先ほど私も言いましたけどね、やっぱり結論、結論というのは、基準への適合性の説明なわけですね。そのためのそのロジックであるとか、ストーリーというのをしっかり、
0:54:03	作っていただいて、それを達成するために何を説明すべきかというところをですね、
0:54:08	この要は太い木をしっかりと
0:54:11	見据えた上で、
0:54:12	今後の説明というのがあると思ってますので、そのあたりをですね、先ほど申しましたけどこれはもう高本さんの役割なのかもしれませんがけれども、俯瞰的にきっちり見ていただいてですね。
0:54:23	この説明はどの部分のどのパートになるんだ、でこれを説明すると、どういう結果に繋がるんだというところの、ロジックなりストーリーというところも、
0:54:32	記述ですね、記載ですね、そこをしっかりといただければ、我々も理解が深まるんじゃないかと思います。
0:54:37	こちらからは以上ですが、電源開発から何か他にありますか。
0:54:44	はい。
0:54:45	今最後に言われたところですね、イワタされた評価最後結論を決めてその結論に行き着く道筋ロジックですねしっかりして、幹をしっかりすることだと思っておりますので、その辺も、
0:54:59	含めて対応して参ります。
0:55:01	ありがとうございます。ご指摘、最後ですね。
0:55:06	
0:55:16	今日のラップアップについては先ほど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:28	コメントリストについては指摘があったのでそれを別途、後程ですね、電子媒体から何かで、こちらに再提出をお願いします。RELAPについては以上にしたいと思います。
0:55:39	よろしいでしょうか。失礼いたしました。ロックアップです。
0:55:43	については、そんな形で、修正したものをお送りいたします。ありがとうございました。お疲れ様です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。